

2011 年実験社会科学入門 スケジュール

(担当：社会科学実験研究センター 助教・品田瑞穂、センター長・亀田達也)

場所：文学研究科 e204 (W503 より変更)

時間：10:30～12:00 (月曜 2 時間目)

評価方法：平常点 (出席、授業への積極的な発言、発表)、および期末レポート

4/11 1 回目 ガイダンス：社会科学における実験の意義

渡部幹・船木由喜彦 (2008) 実験：それは比較すること. 清水和巳・河野勝(編著) 入門・政治経済学方法論, 第 3 章, pp. 93-117. 東洋経済新報社.

4/18 2 回目 実験の前に必ず知っておくべきこと (財源・事務手続き・参加者プールへのアクセス・妥当な報酬・実験可能な時期など)

4/25 3 回目 実験で使用できる設備の概説、社会心理学実験のデモンストレーションと手続きの概説

(※実験室の空き具合により変更の可能性あり)

(Visual Basic 2010 Express. 各自 PC にインストールしておく。PC が準備できない場合は用意するので事前に担当教員まで連絡してください)

5/2 4 回目 実験に用いるプログラム言語の概説と、簡単なプログラムの演習

5/9 5 回目 参加者間のやりとりを含む実験プログラムの例*

5/16 6 回目 フィールド実験または社会調査の概説*

5/23 7 回目 認知指標の測定 (眼球運動測定装置の使い方とデータハンドリングの概説)

5/30 8 回目 生理指標の測定 (皮膚電位反応の測定) ¹

6/6 9 回目 fMRI を用いた実験の概説 ²

6/13 10 回目 計算機実験 (シミュレーション) *

高木英至 (2004) 社会現象の計算機シミュレーション. 竹村和久 (編著) 社会心理学の新しいかたち. 第 9 章、208-219 頁. 誠心書房.

6/20 11 回目 統計ソフト R の使い方 (R および R Studio を各自 PC にインストールしておく。PC が準備できない場合は用意するので事前に担当教員まで連絡してください)

6/27 12 回目 統計ソフト R の使い方*

7/4 13 回目 統計ソフト R の使い方*

7/11 14 回目 論文講読 or 研究発表*

7/25 15 回目 論文講読 or 研究発表*

8/1 予備日

予定は授業の進行状況によって変更する可能性があります。

*受講者による発表

1. 社会科学実験研究センターポスドク研究員：樋口さとみ氏による
2. 文学研究科行動システム科学講座：佐々木超悦氏による

連絡先

e-mail: shinada◇lynx.let.hokudai.ac.jp ◇を@に変えてください。

Tell: 011-706-2303

場所：文学部 204 室